

（雇用・産業創出）

新たな産業の創出や起業、事業進出については、多方面から実現の可能性を追求し、安定して事業を継続できるような支援をまいります。加えて、投資並びに常用雇用の拡大や、外国人技能実習生の受入れを行う企業に対する支援を継続します。

新たに町の産業・イベント等の体験交流プログラムに参加する大学生等を募集し、地域の価値を再発掘するとともに、町の魅力を発信し、地域活性化を図ります。

生活環境・移住定住・交通

（住環境）

町内に散見される空家については、危険度の把握に努め、適切な管理が行われていない特に危険性の高い空家については、代執行の措置を進めるなど安全確保に努めてまいります。

環境・エネルギー問題においては、木古内町地域脱炭素将来ビジョンに基づき、ゼロカーボン推進の姿勢を明らかにするため、早期に「ゼロカーボンシティ宣言」の表明をまいります。

（移住定住）

移住定住対策として、みらいある条例を施行し、マイホーム取得、リフォーム、家賃補助制度を開始し、順調に事業が進んでおります。

空き家利活用においても、空き家バンクの登録件数が増加しており、売買や問い合わせについても増加傾向にあります。

今後は、地理的利便性とみらいある条例を両輪として、様々な情報発信を通じ、取組を進めてまいります。

（公共交通網）

北海道新幹線札幌延伸を踏まえ、二

次交通を維持継続し、道南いさりび鉄道、函館バス、及び町内のハイヤー・レンタカー会社などについて、利用者の安全確保と利便性を維持・向上するため、必要な支援を行ってまいります。

（上・下水道）

老朽管の更新工事を引き続き行い、水道水の安定供給を継続できるよう取り組んでまいります。

令和5年度から、水道料基本料金について、今後5年間の軽減措置を行い負担軽減を図ります。

下水道事業については、汚水管渠新設工事を進め、処理場においても、各種機械等の適切な維持管理に努めます。

（環境美化）

ごみの不法投棄などを防止するため、効果的な看板設置を進めるとともに、団体や地域の清掃活動を支援し、環境美化の取組を進めてまいります。

また、木古内警察署と協力しパトロールの実施や、監視カメラを活用した監視体制を徹底してまいります。

防災・防犯・DX

（消防と救急）

令和5年度には災害対応用ドローンを導入し防災力を強化するほか、救急救命士の配置と資機材の整備を進め、町民の生命に関わる救急体制の充実を図ってまいります。

（防災）

新しいハザードマップを全戸配布し、CG動画も交えて、地域ごとに説明会を行いました。

大きな災害が発生した場合は「公助」だけでなく、地域住民の「共助の力」と「自助の力」が欠かせません。町民の防災意識向上を促すとともに、各地域での自主防災組織結成に向けて支援

してまいります。

（交通安全・防犯）

交通安全指導車による巡回啓発や、町内会、経済団体、町内事業所等による街頭啓発など、町民が一丸となった交通死亡事故防止の運動を推進いたします。

防犯意識向上と防犯体制強化に努めるとともに、特殊詐欺に関しては、新たに特殊詐欺等防止対策機器導入補助事業を実施し、被害を未然に防ぐ取り組みを進めます。

（DX推進）

庁内横断的な組織体制のもと、急速に進化する情報化社会において、町民の生活を豊かにする様々なデジタル技術の活用・取組を進めてまいります。

また、社会保障の公平性の実現や行政の利便性の向上のため、マイナンバーカードの普及と利活用の拡大を図りデジタル社会の実現に向け取り組みを進めてまいります。

行財政・住民参加

（行財政運営）

人事評価制度の活用や能力開発などを推進し、信頼される明るい役場づくりを目指します。

安定した財政運営を継続するため、徹底した経費節減に努めるとともに、町税・地方交付税に続く新たな財源を創出していくことが必要です。

令和4年度から新たに、企業版ふるさと納税を開始し寄附の申出をいただいております。今後も商品群の磨き上げと、全国に向けたPRを強化し寄附者の増を図ってまいります。

（住民参加・協働）

重要施策や発展計画、大型プロジェクトの取り組みなどについては、広く

意見を求め反映してまいります。

また、花いっぱい運動、公園や公共施設の管理など、地域住民と行政がお互いに役割分担し、協働のまちづくりを推進してまいります。

（広報・広聴）

広報紙、ホームページ、防災行政無線に加え、令和4年度から開始したテレビのdボタン活用などにより、迅速かつ的確な情報提供を行ってまいります。「GOTO町長室」お出かけ町長室に出された課題や要望には、速やかに対策を検討し、町内会と情報共有するなど、より実効性の高い取組になるよう、継続して取り組んでまいります。

（広域行政・交流）

「南北海道定住自立圏形成協定」については、ドクターヘリの運航、地域公共交通への支援、広域医療体制、広域観光、基幹道路等のネットワーク整備など、引き続き連携し各事業を進めてまいります。

また、姉妹都市である「山形県鶴岡市」と引き続き交流の絆を深めるとともに、友好都市の「東京都江戸川区」「令和4年度から交流を開始した「神奈川県横須賀市」、そして、北海道新幹線の隣接駅がある「青森県今別町」をはじめとする青森県内の各市町村との交流事業を継続し、住民交流を含めた様々な事業展開へ繋げてまいります。

むすび

町の未来のため、ありとあらゆる可能性を模索し、今こそ木古内の力を一つに結集し、幸せを感じられる政策の実現に向け、職員一丸となって町政の推進に取り組んでまいります。

「これまでも、これからもすべては町民の皆様のために」